

高千穂大学 教職課程だより

ご挨拶

教職課程運営委員会委員長 松丸啓子

高千穂大学教職課程で学ばれた卒業生教員の皆様、今年度をもってご卒業される皆様、在校生の皆様、そして、様々な活動を通じてご支援を賜っている皆様におかれましては、ますますご健勝にてご活躍のことと存じます。私は本年度より教職課程運営委員長を務めさせていただいておりますが、皆様の日頃からの本学教職課程運営へのご協力に対しまして、この場をお借りして心より御礼を申し上げます。

この度、『高千穂大学 教職課程だより』第 2 号を刊行することができました。この『高千穂大学 教職課程だより』の発行は昨年度より開始されましたが、その主たる目的は、本学の教職課程で学んだ卒業生の皆様と在校生たち、教職員その他の関係者たち相互の交流の輪を広げ、絆を深めることで、本学教職課程における教員養成のさらなる充実と活性化を企図することにございます。そのような意味からも、本年度におきまして、昨年度に引き続いて『高千穂大学 教職課程だより』を発行することができましたことを、本学の教職課程運営に携わる者の一人として、大変喜ばしく感じております。今後もより掲載内容を工夫するなどして改善を図り、より有意義な紙面作りを進めてまいりたいと考えておりますので、何かお気づきのことやご提案等がございましたら、ぜひともお知らせいただきますよう、お願いいたします。

また、これまでも何人かの卒業生教員の方々には、教員採用試験合格報告会や特別講義等でご来校いただき、日頃の教育実践等に関するお話をお聴かせいただく機会がございましたが、そうした機会は、教員を目指す在校生たちにとりまして、教員の仕事を理解する上で非常に有意義な経験となっております。そこで、そうしたこれまで交流の成果を踏まえ、来年度からはより多くの卒業生教員の皆様にご来校いただくことのできるような機会を設ける方向で、準備を始めております。具体的には、例年 2 月に開催されている教員採用試験合格報告会と同日に、高千穂大学卒業生教員の会(仮称)を開催し、当該年度の教員採用試験合格者による報告を卒業生教員の皆様にもご一緒にお聴きいただきご助言を賜ったり、懇親会にもご出席いただき在校生たちと個別に交流していただいたりできるような会合に発展させたいと構想しております。したがって、ある程度の方向性が定まりました段階で、このような会合の実現に向けて卒業生教員の皆様にもご協力をお願いすることになるかと存じますので、その際にはお力添えいただければ幸いです。

昨年末に提出された中教審答申においては、改革の柱の一つとして「教員の資質向上」が強調されておりましたが、今後は「学び続ける教員」を支えるキャリアシステムの構築が模索されることになる見通しです。こうした流れの中で、本学教職課程といたしましても卒業生教員の皆様との連携を密にして対応してまいりたいと考えておりますので、今後とも卒業生の皆様の多大なご支援を賜りますよう、何卒よろしくご挨拶申し上げます。

(人間科学部教授)

教員実習体験報告会（7月4日）

7月4日、1号館1103教室にて、教育実習体験報告会が開催されました。（旧）1号館で開催される教職行事としては、最後のものとなりました。

経営学部のKさんからは、教育実習中の体験が報告されました。人間科学部のTさんからは、研究授業で取り組んだ社会科の授業について報告がなされました。

今回の体験報告会開催に尽力いただいた実行委員の学生の皆さんに感謝申し上げます。また、教育実習生の受入れ、ご指導いただきました教育実習先の先生方に深く感謝申し上げます。

（鈴木隆弘）

※本報告会の模様は、『Quarterly 高千穂』54号（2015年9月号）にも掲載されています。

（<http://www.takachiho.jp/library/outline/quarterly/54.pdf>）

教員採用試験合格報告会（2月6日）

本年度の「教員採用試験合格報告会」を平成28年2月6日（土）に行いました。会場はセントラル・スクエアのタカチホホール。参加者は、学生が85名、教員が10名でした。

その折、大学の推薦を得て東京都の教員採用試験に合格したT君（人間科学部児童教育専攻）と、神奈川県的一般教育採用試験に合格したOさん（同）から「合格報告」を、既に本学を卒業して、教壇に立っておられる群馬県の高등학교のK先生と、埼玉県の小学校のS先生から「教育実践報告」をしていただきました。

2名の4年生からは、教員採用試験の概要や試験までに行ったことなどについての説明・報告がなされ、さらに、どのような人材が求められているのかを知ろう、試験の傾向を知ろう、計画を立てて勉強しようなどの、具体的なアドバイスがなされました。卒業生教員であるK先生とS先生からは、勤務先学校での喜びや苦労のほか、ブレない、一貫性のある指導を心掛けている、教科指導をしっかりとできるように日々努力しているとか、「チームワークタイム」を設けている、毎日、児童が登校する前に、「担任の独り言」として、児童の日々の活動や様子から感じたことを板書しているなどの報告がなされました。

当日は、これらの報告に対して、杉並区教育委員会教育長代理／済美教育センター統括指導主事の手塚成隆様より、ご自身の教員としてのご経験を盛り込んだ、ていねいなご講評・ご指導をいただきました。

また、これらの発表後に、報告してくださった方々と在學生との間で、有益な情報交換会がもたれました。より多くの在學生が、この合格報告会での先輩たちのアドバイスを生かして、ご自身の教員となる希望を実現されますよう、心から期待しています。

最後になりましたが、笹金光徳本学学長を始めとする本学関係の皆様、そして、お忙しい中お越しくださいました杉並区済美教育センター統括指導主事の手塚成隆様に、心から感謝申し上げます。

（松丸修三）

高千穂大学での教職課程を振り返って

人間科学部 岡田有司

高千穂大学に赴任しほぼ4年が経とうとしています。そしてこの春、私も今の4年生と同じく高千穂大学を卒業することになりました。学生の皆さんと同様、あっという間の4年間でしたが、とても密度の濃い4年間でした。私はこれまで、児童・青年の学校生活への適応や学校生活を通じた発達について研究してきました。高千穂大学の教職課程では、「教育心理学」「生徒指導論」「教育相談の基礎」といった科目を担当してきましたが、これらの科目は私の研究内容や教育臨床活動と重なる部分が多く、自らの研究・実践活動を教育にも活かすことができ、大変充実していました。

授業では様々な内容を扱いましたが、そこでは「子どもの問題を多面的に捉える」ことを意識してきました。例えば、学校に問題児がいたとして、なぜその児童が問題を起こすのかを学生に考えてもらうと、「その子に何か問題があるのではないか」と考える学生が多くいます。もちろん、問題の原因はその児童の側にもあるかもしれませんが、本当に問題の原因は個人の内面のみに還元できるのでしょうか。もし、その児童がいかなる環境にあっても同様の問題を示すのなら、その問題は個人側の要因に強く規定されているといえるでしょう。ただし、実際の教育現場では環境が変わると問題行動も落ち着くといったことがしばしばあります。つまり、個人の側の要因だけでなく、環境側の要因、更に個人と環境の関係性も考慮しなければ問題の本質は捉えられないわけです。ところが、多くの場合、問題状況は「～さんが～という問題を起こした」というように単純化されて伝えられ、その時の詳細な状況や文脈までは伝達されません。そのため、個人の側の要因に目が向きやすくなるわけです。また、問題とされる行動は教師の目には問題と映るけれども、その子の成長のプロセスで重要な意味を持っている場合もあります。こうした子どもの問題における多義性に注目することも重要です。子どものよりよい成長を促すためにも、このように問題を多面的に捉えられるようになってもらいたいと思い、授業を行ってきました。

高千穂大学の教職課程は少人数でアットホームな印象で、授業外でも学生の皆さんと関わりがありました。例えば、教員採用試験前になると自己アピール文や小論文の添削、面接の練習なども手伝いました。こうした準備と一緒にやって、その学生が見事合格した時はその喜びもひとしおでした。また、教師になった学生にしばらくたって会うと、いつもその成長ぶりに感心させられます。教師を育てるという経験はなかなかできるものではありません。短い間ではありましたがそのプロセスに携わることができたことはよい思い出です。今後も本学教職課程から多くの教師が巣立ち、子どもたちの成長を導いてくれることを願っております。

○ 本年度教員採用者について

平成28年度 新規教員採用者は5名（3月15日現在：講師等採用者2名含む）、既卒者2名（本学把握分）です。卒業生教員の皆様におかれましては、ご指導のほどよろしくお願い申し上げます。

<小学校教諭採用>

※ 名前は採用自治体別

＜本学教職課程の概要について＞

(1) 取得可能な免許種

高千穂大学教職課程では、現在、以下の免許を取得することができます。

学部	専攻	取得可能な免許種
商学部		高等学校（商業）／高等学校（公民）／高等学校（地理歴史）／中学校（社会）
経営学部		高等学校（商業）／高等学校（情報）
人間科学部	人間科学	
	児童教育	小学校（全科）

※ 免許状はすべて一種教育職員免許状。

※ 商学部では、高等学校（情報）／経営学部では、高等学校（公民）（地理歴史）・中学校（社会）免許状取得も可能。

(2) 年間行事

教職課程では、教職課程運営委員会の下、主に以下の行事を実施しています。

月	行事	内容
4月	履修オリエンテーション	春学期履修に向け、学年ごとに実施します。
7月	教育実習報告会	教育実習を終えた学生から、教育実習の体験をお伺いします。
8月	教員採用試験対策講座	教員採用を目指す3・4年生の希望者を対象に、採用対策試験講座を行っています。
9月	履修オリエンテーション	秋学期履修に向け、学年ごとに実施します。
11月	新規履修者オリエンテーション	新規履修希望者向けにオリエンテーションを実施しています。
2月	教職課程新規履修者面接	教職課程新規履修者希望者を対象に、面接を行い、履修の可否を決定します。
	教員採用試験合格報告会	教員採用試験合格者及びお招きしたOB・OG教員より、合格までの道のりや教員生活の心構えなどをお話頂きます。

※教職課程履修者は「オリエンテーション」「教育実習報告会」「教員採用試験合格報告会」参加が義務付けられます。

卒業生及び卒業された皆様へ

- 勤務先の変更・ご自宅の住所変更時
 - 「学力に関する証明書」「単位取得証明書」等、証明書が必要な時
 - 教職課程及び就職支援課に対する、私立学校からの求人を知りたい時
- 以上の際には、学務部 教務課（TEL:03-3313-0146）までお問い合わせください。

＜目次＞

- ご挨拶・・・・・・・・・・・・・p.1
- 行事紹介・・・・・・・・・・・・・p.2
- 教員挨拶・・・・・・・・・・・・・p.3
- 本年度教員採用者について・・・p.3
- 事務連絡・奥付・・・・・・・・・・p.4

「高千穂大学教職課程だより」 第2号 平成28年3月20日発行

＜平成27年度 教職課程運営委員会＞

委員長 松丸啓子

常任委員 鈴木隆弘 委員 岡田有司 委員 五野井郁夫

委員 立石展大 委員 寺内一 委員 松丸修三

教務課 北田 大介 （本年度編集担当：鈴木・松丸啓子）